

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第2回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない
3 実施日時	平成22年7月10日（土） 13:30～15:30
4 実施場所	諫早市民センター
5 事業目的、内容及びその効果	<p>（事業実施状況・内容）</p> <p>①寸劇（小学生）「飛び石こえて」第1幕～ホテル</p> <p>②大水害記録フィルム上映</p> <p>③朗読「流木にすがって西長田まで」小学生手記 「水害の思い出」当時の野村儀平市長の手記</p> <p>④寸劇（小学生）「飛び石こえて」第2幕～本明川の悲しみ</p> <p>⑤体験者談：体験者2名による当時の水害の恐ろしさ、防災対策を語る。</p> <p>⑥諫早市連合婦人会活動報告「水害殉難者への祈りを続けて」 昭和33年から現在に至るまで水害殉難者納骨供養塔を建立し、毎月2回供養などを実施している様子を報告する。</p> <p>⑦みんなで語る大水害：一般参加者が大水害の体験や防災について語る。</p> <p>⑧寸劇（小学生）「飛び石こえて」第3幕～本明川の希望</p> <p>⑨合唱：『本明川に捧ぐ』鎮西学院高等学校合唱部 ※30数年ぶりに歌う。 『せせらぎの詩』オレンジ多良見コーラス</p>
	<p>（事業実施効果）</p> <p>本年度は2回目となる事業であったが、1回目より内容が充実していた。参加者も昨年より200人ばかり多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによると参加者がこの事業を評価する声が多かった。 ・生命の大切さ、水害の恐ろしさ、日ごろの防災対策の必要性などが認識された。 ・行政との協働がかなりスムーズになされた。 <p>今後とも水害や防災に対する市民の意識向上などを図るために、この事業を見直しながら継続する必要がある。</p>
6 参加内訳	総人数 375名
	（1）主催者参加 35名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 340名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 0名
7 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度3回目の事業実施に向けて早目に取り組みたい。 ・多くの市民に参加を呼びかけるとともに若い世代の参画に留意したい。 ・行政との協働態勢を大事にしたい。

状況写真



状況写真



状況写真



状況写真



状況写真



状況写真

